

# 「ダウン症候群の娘に何が起きたのでしょうか？」

私の娘マリアはダウン症児として生まれました。精神発達が遅れて、からだがいとおりに支えられなくて、成長発育がゆっくりでした。このために家の雰囲気はいつも重かったのです。経済的な困難で治療も思いどおりに受けられないマリアがいつも目に浮かんで、健常児たちを見ると、胸が張り裂けそうでした。「マリア！ ごめんね。ママが悪いの。」



が6才の時、ペルー万民教会に出席しました。マリアのことで心が貧しくなっていた私に、堂会長イ・ジェロク牧師が伝えるいのちのみことばは大きい力と慰めになりました。毎主日、礼拝をささげながら信仰を持つようになって、神様がいやしてくださると思えるようになりました。ただ創造主の神様だけがすべての病気をいやして、さまざまな人生の問題を解決してくださるというのを悟りました。私は心を尽くして礼拝をささげ、祈りをやめませんでした。イ・ジェホ、チャン・チョンヨン牧師と働き人たちの助けも、とても大きかったです。

時間が経つほど症状が良くなっていきました。時に応じて、ソウルからイ・ジェロク先生の時間と空間を超えた神の力の祈りを受けて、マリアは次第からだを支えながら歩いて、言葉もはっきりしてきました。とんでもない行動もしないし、集中力も高まりました。私はうれしくて、どうすればよいかわからなくて、不思議だなあと思いました。マリアは教会へ行く日になると、とても幸せそうな表情をするようになりました。パパに手を差し出して、教会に行こうと誘う姿



ダウン症候群だったマリアがペルー万民教会に出席して、堂会長イ・ジェロク牧師の時間と空間を超えた祈りで好くなり、9才になった1月17日、神様に特別賛美で栄光を輝かした。



ペルー・ピセンテナ・チリス

を見ると、本当にかわいいです。ますます健康になる姿を見て、夫と一緒に教会に来るようになりました。結局、夫は今、聖徒の皆さんの安全を守るための奉仕をしています。2009年、マリアが8才になった年、初めて神様に賛美をささげた時のその喜びと感謝は、何とも表現できません。マリアはその後、もうおかしな行動もしなくなりましたし、周りの人から疎外されることもなくなりました。特殊学校に通う子どもを持った親御さんも、私の娘の変った姿を見て驚き、うらやんでいます。私は神の力を体験したので、区域長の使命を果たしながら、自信を持って福音を伝えていますが、今までに50人以上伝道しました。今年1月17日には、私の娘が特別賛美をしたと担任のイ・ジェホ先生にお願いして、主日礼拝の時、特別賛美で神様に栄光を帰しました。誰がこの姿を想像したでしょうか。ハレルヤ！

**＊ダウン症候群 [Down syndrome]**  
染色体の異常によって発症する、先天性の疾患群。1866年、医師ダウンが学会に報告したので、こう呼ばれる。頭、耳、指が小さく顔が扁平で、目じりがつり上がっている。心臓病や知的発達遅滞、内臓の奇形を伴うことがある。

「市場でもの乞っていたエリザベスです。祈りを受けて目が開きました」

ケニア/エリザベス・ナクマカー

1984年、私はケニアのナイロビから300マイルくらい離れたカーティルタウン郊外で生まれました。母はとても小さい時に亡くなり、私と兄は継母の下で成長しました。13才の時、父も亡くなって、私とただひとり血がつながっている兄は就職しに都会に出て行きました。ひとりぼっちの人生は苦しみと連続でした。差別待遇と迫害、本当に耐えがたい人生でした。その上、17才になった2000年には、はしかを病んで両目の視力を失ってしまいました。

あちこち病院に通ってみましたが、解決策はありませんでした。失明したので、家の唯一の生計手段である農作業にも全く役に立たないといわれ出されてしまいました。友だちに助けられて、都会で生活している兄を訪ねて行きましたが、無責任な酔っ払いに変わっていました。結局、私は市場の人にもの乞いする身の上になりました。その時、路上で出会ったふたりの牧師先生が少しずつ助けてくださって、生計を維持していました。

2010年1月11日、キリスト教連合聖潔教団のアフリカ総会長であり、ナイロビ万民聖潔教会担任のチョン・ミンホ牧師先生が講師として立たれた、キタレ・ハンカチ集会(使徒19:11-12)の二日目でした。その日は私の人生で忘れられない日です。

私は友だちのモニカ・トゥディに誘われて、集会に参加しました。説教が終わった後、全体のためのいやしの祈りがありました。チョン・ミンホ先生は私の目に手を当てて、イエス・キリストの御名によって切に祈ってくださいました。「父なる神様！ この時間、この娘に働いてください！」

祈りが終わった後、奇跡が起きました。光が見え始めて、周りにいる人と物が見えるのでした。私はすぐに講壇の前に出て行きました。たくさんの人が、いやされた奇跡の現場を目撃して、喜びを抑えられなくて、大声を上げていました。私を貧しくて目が見えない娘と思っていた人の前で、大胆に証しをしました。「市場でもの乞っていたエリザベスです。祈りを受けて目が開きました。見えます。見えるわ！」



11年間、目が見えなかったエリザベス・ナクマカが神の力のハンカチでチョン・ミンホ牧師が祈ると見るようになった。

01 ニュース

駐韓12か国の大使、本教会の礼拝に出席

02 いのちのみことば

信仰の量り(19)  
信仰の四段階から五段階に入るために御霊の人が受ける訓練とは、どんなものか？

03 海外宣教

聖潔の福音で世界の牧会者を養育するマンミン国際神学校

04 証し

「ダウン症候群の娘に何が起きたのでしょうか？」

# 万民ニュース

第88号 2010年 3月 28日  
**MANMIN NEWS**  
TEL: 82-2-818-7042  
www.manmin.org/Japanese

## 駐韓12か国の大使、本教会の礼拝に出席

堂会長イ・ジェロク牧師と歓談、海水魚と淡水魚が共存するムアンの甘い水水族館を見学



3月7日、堂会長室で駐韓12か国の大使とイ・ジェロク牧師が歓談。イ牧師は「全世界に現れる自然災害も信仰によって神の人に祈りを依頼すれば、神様が働かれる」と語った。

アジア、中南米、東ヨーロッパ、アフリカなど駐韓12か国の大使が3月7日、本教会を訪問して、主日夕方礼拝に参加した。参加者は駐韓コスタリカ大使フェルナンド・ボルボン牧師を初め、ホンジュラスのフランシス・ウマナ、ペルーのマルセル・ラ・ロベラ、ドミニカ共和国のエクトル・ガルボン、アゼルバイジャンのロブション・チアムシドブ、エルサルバドルのジョイラ・アキレ・デ・マイ、スロバキアのトウサン・ペラ、セルビアのスロボダン・マリニコビッチ、パナマのハイメ・ラソ、コートジボワールのクアシ・フローラン、東ティモールのピエガス・カハスカフラウン、エクアドルのキエルモ・ララ各駐韓大使とその家族、計19名である。

礼拝出席前、迎接委員会で用意した昼食を共にしてから、第2聖殿前入口にある甘い水水族館を見学、海水魚と淡水魚が共存している様子を見た。大使一行は驚きを隠せず、「これは奇跡だ」と感想を述べた。堂会長室での語りいで、堂会長イ・ジェロク牧師は最近、世界で頻繁に起こっている自然災害

について語った。「エリヤの祈りを神様が聞かれて、雨が降って干ばつが終わるようにされた聖書の記述のように、全世界で起こっている地震と干ばつなども、信仰によって神の人に祈りを依頼すれば、神様が働かれて解決される」と説明、全知全能の神様への信仰を植えた。大使一行は聖徒の歓迎を受けて夕方礼拝に参加した。男性宣教会献身礼拝の特別賛美と芸術委員会所属の芸術宣教師団の公演を観覧し、説教に耳を傾けた。堂会長イ・ジェロク牧師は説教の後、「大使の国々に神様が共におられ、守ってください。貧困が退いて豊かな国になるように。大使の方々に知恵と悟りを与えて、使命をよく果たせるようにしてください」と、国と大使たちのために祈った。礼拝後、エクトル・ガルボン駐韓ドミニカ共和国大使は「説教が心の奥深く響いたし、信仰に大きい力を与えてくれた」と語った。今回の大使訪問は、本教会の聖徒として登録した駐韓コスタリカ大使フェルナンド・ボルボン牧師の紹介で実現した。



夕方礼拝に出席する前、親交室で11か国の大使と家族が集まった。(セルビア大使は撮影までにもできず)

## マンミンテレビ、世界最大のキリスト教放送博覧会、NRB総会と博覧会に参加



ナッシュビル市ゲイロード・オブリランドホテル・コンベンションセンターで開かれた「2010年 NRB総会と博覧会」でのマンミンテレビのブース

本教会付設の(株)マンミンテレビ(会長イ・ジェロク牧師、社長イ・ジョンホ長老)は2月27日から3月2日まで、アメリカ・ネネシー州ナッシュビルのゲイロード・オブリランドホテル・コンベンションセンターで開かれた「2010年 NRB(世界キリスト教放送博覧会、NRB総会と博覧会)」に参加した。「放送を通して影響力を拡張せよ」というテーマで開かれたこの行事には、アメリカの代表的なキリスト教放送をはじめ、世界6000人余りのキリスト教徒放送人と200余りのキリスト教放送

団体が参加した。「GOD IS GREAT」(神は偉大なり)というパネルの文字が目立つマンミンテレビのブースでは、神の力あるわざが紹介された番組を上映した。また、『十字架のことは』等、堂会長イ・ジェロク牧師の翻訳本21種類を展示、ムアンの甘い水の試飲コーナーも注目を浴びた。NRB、デイスター、エンラセなどの関係者がブースを訪問し、インドネシアなどのキリスト教放送局に番組を供給する協定を締結した。2000年から始めて今年で11回目のNRB総会と博覧会に参加し、世界のキリスト教

放送人と交流を続けてきたマンミンテレビは、特にイスラエル聖会の広報で放送関係者の関心を集めた。NRB(National Religious Broadcasters)は、放送を通して福音を伝えるクリスチャンの集いで、世界1,400以上の団体が加入している。マンミン祈禱院主催「2回連続特別ダニエル徹夜祈禱会」本教会付設のマンミン祈禱院が主催し、イ・ボンニム祈禱院長の導きで「2回連続特別ダニエル徹夜祈禱会」が「祝福の実」(民6:24-26)をテーマに、3月15日から4月25日までの42日間、本聖殿と第2聖殿で開かれている。金曜を除く毎日、午後9時から11

時40分(土、日は11時)まで、衛星放送GCN、マンミンテレビとインターネットで全世界のマンミンの聖徒が参加している。最終日には堂会長イ・ジェロク牧師の祝福の祈りがあり、40日以上参加した人に抽選で様々なプレゼントが用意されている。

### 日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNCS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト大阪万民教会  
〒395-0807 長野県飯田市期切石 3883-4  
T) 0265-56-8286  
http://iidamanmin.to.cw/
- ・名古屋万民教会  
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916  
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会  
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4  
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会  
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会  
〒591-0823 大阪府堺市中区百舌鳥町  
5-775-15  
T) 072-220-5289  
http://www.eonet.ne.jp/~osakamanmin/
- ・イエス・キリスト旭川万民教会  
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23  
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会  
〒114-1102 東京都北区田端新町 2-25-3  
T) 03-3809-3326  
http://tabata.manmin.or.kr/

- ・イエス・キリスト川崎万民教会  
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8  
グリーンヴァレ 301号室  
T) 044-277-0178
- ・イエス・キリスト松本万民教会  
〒399-0033 茨城県鉾田市笹塚 4343  
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会  
〒624-0913 京都府舞鶴市宇安久 138  
T) 0773-75-5656  
http://www.manmin.jp/
- ・岡山万民教会  
〒701-2155 岡山市北区中原460  
T) 086-275-7276

- ・イエス・キリスト八千代万民教会  
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670  
T) 047-483-3587
- ・イエス・キリスト鎌田万民教会  
〒311-2102 茨城県鉾田市台湾調1080-6  
T) 0291-39-9177
- ・イエス・キリスト東京万民教会(東京万民宣教センター)  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13  
T) 03-6915-1740
- ・横浜鶴見福音教会(協力)  
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4  
T) 045-521-5843

# 信仰の量り(19)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

## 1. 神様と真実の愛を分かち合うには信仰の四段階以上に入ってこそ

愛の神様はイエス・キリストを受け入れた神の子どもたちに、あまりにも尊い救いの恩寵を与えてくださいました。罪のため地獄に行くしかなかった魂に永遠のいのちを与えて、天国に入るようにされたのです。それだけでなく、神の子どもたちがこの地上で生きている間も、霊の信仰をもって求めさえすれば、求めるものは何でも細やかな愛をもって答えてくださいます(マタイ8:13)。ところが、なぜ「私は熱心に求めたのに答えられなかった」と言う人々がいるのでしょうか？ それは、神様が認められるほどの信仰の証拠がないからです。神のみことばをどれほど信実に守って、心の罪と悪を捨てたのか、これが信仰があるという証拠であり、信仰を量る尺度なのです。それで、神様に似せられた聖なる子どもになるほど信仰が大きくなり、信仰が大きくなるほど簡単に答えられ、さらに多くの祝福が受けられるのです。聖霊を受けて救われた神の子どもであっても、その信仰が足踏みしたり、むしろ退歩したりすれば、神のみわざを体験しにくいのです。ですから、救われて信仰の一段階になったとすれば、熱心に神のみことばを聞いて行ない、信仰の二段階、三段階へとすみやかに入らなければなりません。そして、完全に神のみことばのうちにとどまり、信仰の四段階以上に入る時でこそ、神のまことの子どもとして何でも大胆に求めて答えられます。信仰の五段階に入れば、心にいただいた願いまでも神様のほうで先に答えてくださるので、すべてにおいて神のみわざを体験して、食べるにも飲むにも、いつも神の栄光を現すようになるのです。

## 2. 信仰の四段階から五段階に入るために御霊の人が受ける訓練

信仰の四段階に入った人は心の罪と悪を捨てた御霊の人であり、きよい心の器が備えられた人です。しかし、それだけではまだ完全とは言えません。その中に御霊に属するものがぎゅぎゅと満たされて、真理の実が豊かに結ばれていなければなりません。その時、肉の痕跡までもなくなり、完全に主に似せられた、全く聖なるものとされた人になります。言葉と行ないが主のように完全で、すべてにおいて周りの人に恵みとなり、徳を現し、神様に最も喜ばれることをわきまえて、そのま行なうのです。〈エペソ人への手紙4:13〉に「ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。」とあり、〈同15節〉には「むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において成長し、かしなるキリストに達することができるためなのです。」とあります。このようになるためには、御霊の人も訓練を受けます。

それなら、信仰の四段階から五段階に入るために御霊の人が受ける訓練とは、どんなものでしょうか？ 三段階以下では、人に罪と悪があるので敵である悪魔が訴えて、サタンの権限のもとで訓練を受けるように神様が許されます。しかし、四段階からは神様がご自身で練られて、残っている肉の痕跡までがぎゅぎゅと、全き実で満たされるようになってくださるのです。

たとえば、ヨブは神様を恐れて正しく生きた人です。しかし、信仰の三段階の終わりにいる人だったので、心の悪魔で捨てたのではなく、神の戒めを熱心に守り行ないました。けれど、ヨブの心の奥底には神様に対する恐れがありました。父なる神様の心がわからなくて、その愛が信頼できないので、心に不安と恐れがあったのです。恐れがあるとい



堂会長イ・ジェロク牧師

うこと自身が全き愛でなく、御霊に属する心になれなかったことを物語っています(第一ヨハネ4:18)。ですから、サタンが神様の前でヨブを訴え、神様が許されたので訓練が始まります。

途方もない財産と子どもたちを一日で失って、全身に悪性の腫瘍ができ、妻はヨブを呪って離れてしまいました。初めはよく耐えていたヨブですが、訓練が激しくなって限界を超えると、深く隠されていた悪が現れ始めます。自分を生んだ親を恨んで、自分がどんな過ちを犯したか、災いを与えるから神様は正しくないお方だと、神様に立ち向かうことまで言うようになります。行ないでは大変正しいヨブでしたが、自分自身も知らない深く隠された悪があって、これによってサタンがヨブを訴えて、災いをもたらすことができたのです。

もちろん、聖徒がただ心に悪があるだけで災いにまであうのではありません。たとえ罪と悪がすべて捨てられなかったとしても、おのおのの信仰の量りに応じて努力している時は、神様が災いにあわないうように守ってくださいます。

しかし、ヨブは特別な場合でした。試みを通して心の中に深く隠された悪が現れてこそ御霊の歩みに入れるので、神様はサタンの訴えを受け入れられたのです。ヨブは訓練を通して自分を発見して、心の根にある悪魔で捨てました。行ないだけで正しくする三段階の信仰でなく、心の罪と悪まで捨てて四段階の信仰になりました。この時からは、前に比べて二倍に祝福されました。このようにヨブが受けた訓練も、神様が彼を変えさせようとした祝福の訓練です。しかし、これはサタンに任せられて受けた訓練であつたし、神様ご自身がなさる信仰の四段階の訓練とは違います。

敵である悪魔・サタンの権威は闇に属し、罪と悪がある人を支配することができます。四段階に入った人には罪や悪がないので、サタンが災いや病気をもたらすことはできないのです。時には信仰の四段階の訓練が三段階の訓練と似ているように見えますが、その過程や結果には、はっきりした違いがあります。

たとえば、ヨセフは練られている間も、いつも神様がともにおられたので、何をしてでも成功したし、それが周りの人にも感じられました。神様が炎のような御目で守りながら、もつと心を完全に変えて、肉的にも将来、エジプトの統治者になれる資格を備えるようにされたのです。このように信仰の四段階の訓練は全きものにするために神様がともにおられ、何をしてでも成功するようにされる中でなされます。

三段階と四段階の訓練の違いをもう少しよく理解できるように、ダビデを例に説明してみます。ダビデがまだ御霊の歩みに入る前のことです。王になった後に、自分の過ちを隠すために、ウリヤを異邦人の手で殺させる罪を犯しました。これによってダビデはサタンに訴えられて、その後、あまりにも大きい訓練を受けるようになります。バテ・シェバが産んだ息子が死に、別の息子アブシャロムが反乱を起

こしたので、いのちが脅かされながら追われなければなりません。もちろん、ダビデは預言者ナタンが責めた時に悔い改めましたが、犯した罪に対してはサタンが訴えたので、試練、患難にあわなければならなかったのです。

このような訓練を通してダビデは徹底的に低くなって、神様の前にふさわしい心に変えられました。ところが、歳月が流れた後、御霊の歩みに入ったダビデに、神様はもう一つの訓練を受けることを許されます。ダビデの心が動いて、イスラエルの人口を調べました。これは戦争に出て行ける人数を調べることです。このこと自体が、わずかな間でも神様だけに頼らず、人の力に頼ろうとすることになってしまいました。これを悟ったダビデは直ちに悔い改めましたが、すでに大きい訓練の道に入ってしまったのです。イスラエル全地に疫病が臨み、あっという間に七万人が死んでしまいました。ある人々は、ただダビデの高ぶりのゆえに神様が懲らしめられたと考えます。しかし、これは王として十分にありうることであり、ダビデが何か悪い意図を持っていたことでもありません。ですから、人のほうからは「王が罪を犯した」と罪に定めるほどのことではありません。しかし、完全であられる神様のほうからご覧になると、「あなたはわたしだけにより頼まなかった。あなたは高ぶっている」と言われるのです。こういうものが聖められた後も残っている「肉の痕跡」なのです。神様はこれさえなくして、ダビデを全きものにするための訓練を許されたのです。

実は、民に疫病が臨んだ理由は民が犯した罪によって神様の御怒りを受けたからです。〈サムエル記第二24:1〉に「さて、再び主の怒りが、イスラエルに向かって燃え上がった。主は『さあ、イスラエルとユダの人口を数えよ。』』と言って、ダビデを動かして彼らに向かわせた。」とあります。しかし、ダビデは自分の行ないがきっかけで民が死ぬのを見ながら、ひどく心を痛めたり、徹底的に立ち返りました。結局、神様は民を懲らしめながら、合わせてダビデを練られたのです。

それで、訓練を受けたといっても、サタンがダビデに患難をもたらしたのでもないし、直接災いにあつたのはダビデではありませんでした。むしろその後、神様はダビデのいけにえを受け入れられたので、イスラエルの災いを終わらせました。このように、変わらず彼とともにおられることを見せてくださったのです。もちろんサタンは御霊の人に対しても、何としてでも訴えることを探そうとします。それで、時には悪い人々を唆して御霊の人を苦しめるように見えますが、結果は神様がすべてを働かせて益としてくださるので、必ず祝福の道へと帰るのです。

愛する聖徒の皆さん、〈第二コリント11:28〉には、使徒パウロが主のために受けた数多くの苦しみを数えたあげく、「このような外から来ることのほかに、日々私に押しかかるすべての教会への心づかいがあります。」と告白しています。ヨブが受けた試練がいくら大きかったとしても、使徒パウロはこれより大きい苦しみを、想像できないほど受けなければならなかったのです。しかし、パウロはそのすべてより、むしろ教会への心づかいがもつと心に押しかかると言っているのです。これだけを見ても、パウロが受けた心の訓練がどれほど重かったのか、十分に察することができます。

しかし、四段階の訓練がいくら重いとしても、訓練を受けている本人はそれを苦しいと言いません。心に悪がないほど、そして神様を愛する心が大きいほど、打ち勝つ力があるからです。訓練によって悲しむとしても、心の奥深くでは喜びと感謝が絶えずわき上がってくるのです。次は「信仰の量り」の最終回で、信仰の五段階について語ります。

## 聖潔の福音で世界の教会 マンミン国際神学校

「まことに、水が海をおおうように、地は、主の栄光を知ることであらされる。」(ハバクク2:14)



チョン・グン牧師(MIS総長)

世界にはマンミンの働きに恵みを受けて、ともに働きたいと慕う教会者が多い、神学校を設立してほしいという要請を受けて、まず2005年3月17日にオンラインで開講、同年4月17日

には、本教会の海外教区の信者を対象に宣教師養成プログラムとして対面講義が始まり、マンミン国際神学校(Manmin International Seminary: 略称MIS)が発足した。

MISは、海外の教会者や教会リーダーが聖潔の五重福音を体系的に学んで、自国で働く力ある働き人を養成する神学教育機関である。現在、アメリカ、ヨーロッパ、中南米などで伝統的な聖書セミナーを開き、多くの教会者と教会リーダーに神の御心と摂理を伝えている。教会者がまずいのちのみことばによって目ざめれば、教会している教会と聖徒にまで影響が及び、数えきれない魂が神の望まれるまことの子どもに変えられる。したがって、MISの働きは終わりの時、神のみことばと力を全世界にすみやかに伝え

て、主の至上命令である世界宣教を実現するのに大きい役割を果たしている。

信仰の最も核心になる「十字架のことば」「信仰の量り」「霊、たましい、からだ」「天国」「地獄」等をテーマに、総長チョン・グン牧師(前ソウル女子大総長)が世界各地でセミナーを開いている。そのたびにに教会者たちがみことばの霊的な意味を悟って恵みを受け、万民中央教会とともに働きたいと願い、すでに数百の教会が支教会や協力教会に加入している。MISキャンパスはベルギー、イギリス、ロシア、インド、中国、台湾、アメリカ、ペルーなどにあり、日本語過程もソウル本部で昨年11月から開講し、日本でも飯田万民教会で開講予定である。ホームページ(www.manminseminary.org)で登録して



MISホームページ

申込書を作成、入学許可を受ける。定期的にメールでレポートを提出、試験を受ける。ホームページは現在、英語、ロシア語、スペイン語が利用可能で、将来、日本語も開設される予定である。

## 「MISで学んでから、神様を愛すれば信仰生活が とてもやさしいことがわかりました。」

私はインド・マドライ万民教会を担当しています。

2009年5月、父のラザドライ牧師が召天した後、教会を担当しました。しかし、自分の人生が変えられなかったら、教会に仕えることは不可能だったでしょう。

両親は私が主のしもべになってほしいと願ったのですが、気が向きませんでした。なぜなら、信仰生活をしていて霊的な疑問点が多かったからです。そうしているうちにイ・ジェロク牧師の著書を読みましたが、その中にはすべての疑問点への明快な答がありました。初めて渡されて読んだイ・ジェロク牧師の著書は、証し手記『死の上がり框で味わう永生』でした。大きい恵みと感動を受けた後、イ・ジェロク先生が伝えているのちのみことばを学びたいと思いました。ありがたいことに、MISインド・キャンパスを紹介されて、思いきり勉強できました。「十字架のことば」から『創世記』までを学

びながら、私たちへの救いの摂理を成し遂げられている父なる神様とイエス・キリスト、そして聖霊の愛を心の底から感じました。その愛を悟って、何度も涙を流しました。「信仰の量り」「天国(上)」そして「地獄」の勉強をしながらも、終始感動して涙を流しました。

MISで勉強する前、私は信仰生活は難しいと思っていた。しかし、時間が経つにつれて、神様を愛すれば信仰生活は決して難しくないと悟るようになりました。信仰についてのさまざまな間違った考えも砕かれていきました。

聖書は信仰とは何かを明確に教えていますが、私にはそれがわかりませんでした。何が私の霊的な成長を停滞させているのか、発見できなかったのです。ところが、その原因を悟ることができました。その停滞から抜け出すためには、神様を愛して、そのみことばに聞き従って、悪はどんな悪でも

避けて、罪と血を流すまで戦って捨てなければならぬことも知るようになりました。

私はヒンズー教徒の大学の同窓生にイ・ジェロク牧師について証しをして、説教の内容を伝えました。そして『死の上がり框で味わう永生』を手渡しました。その友だちはそれを読んでイエス・キリストを受け入れて、隣人たちにもその本を紹



バルシ・ヘレン・ラザドライ伝道師 (インド・マドライ万民教会担任)

介しています。私のビジョンは、南インドのタミルナドゥ州のあちこちにこの聖潔の福音を伝えることです。そして、私のようにクリスチャン家庭で生まれて成長したのに、正しい真理のみことばを知らなくて苦しんでいる人々が神様の愛を悟るように助けることです。



マドライ万民教会

私の人生を変えて、多くの人々にまことの福音を伝えるように導く本を書いて、MISを設立されたイ・ジェロク先生に感謝し、すべての栄光を神様にお帰しします。



Tel: 82-2-818-7042, 7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
www.manmintv.org  
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

## 万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク  
編集者: ビン・グンソン  
www.manmin.org/Japanese  
編集発行: 万民中央教会  
〒152-048 韓国ソウル市クワク区クダン235-3  
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048